

報道機関への情報提供（6月）

1 主要行事等について

No.	項 目	問合せ先	ページ
1	モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第27期）開講式及び第1回講座について	宮古地域振興センター 特命課長 中村 0193-64-2211（内線219）	1
2	令和5年度宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会の開催について	宮古地域振興センター 特命課長 中村 0193-64-2211（内線219）	3
3	令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の受賞及び伝達式開催について	宮古保健福祉環境センター 環境衛生課長 懸田 0193-64-2218（内線240）	4
4	令和5年度クリーンいわて行動の日について	宮古保健福祉環境センター 環境衛生課長 懸田 0193-64-2218（内線240）	6
5	ブロッコリー栽培体験学習について	宮古農林振興センター 農業振興課 堀間、佐藤 0193-64-2214（内線268）	10
6	田の浜地区復旧整備工事完成式の開催について	宮古土木センター河川港湾課 河川港湾課長 大村 0193-64-0031（内線381）	12
7	令和5年度宮古の道クリーン作戦の実施について	宮古土木センター 道路整備課 西村 土木技術企画チーム 照井 0193-64-2221（内線355、614）	14

2 その他

【定例記者懇談会（7月）開催予定日時】
令和5年7月12日（水）11:00～



報道機関への情報提供

項 目	モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第 27 期）開講式及び第 1 回講座について
日 時	令和 5 年 6 月 15 日（木） 14:30～16:30
場 所	県宮古地区合同庁舎 3 階大会議室
内 容	<p>「モノづくりの出来る人づくり寺子屋」は、新採用から概ね 5 年程度までの従業員を対象に、社会人としての教養等を習得させ、産業人材を育成することにより宮古地域の企業に人材が定着することを目的として、平成 15 年度から開催しています。</p> <p>今年度も、「いろいろな仕事を知る」、「コミュニケーション」、「社会人の教養」、「ものづくりの知識」を柱に、全 6 回 11 講座の開催を予定しており、第 1 回の開催に当たり開講式を開催するものです。</p> <p>【「モノづくりの出来る人づくり寺子屋」について】</p> <p>1 主催等</p> <p>(1) 主催：宮古・下閉伊モノづくりネットワーク（注）人材育成専門部会</p> <p>(2) 共催：県沿岸広域振興局、県立宮古高等技術専門校、宮古金型研究会</p> <p>(3) 後援：宮古市</p> <p>2 次第</p> <p>○ 開講式（14:30～14:40）</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会会長挨拶 （有限会社エムデー代表取締役社長 佐々木 一志 様）</p> <p>(3) 沿岸広域振興局副局長挨拶</p> <p>○ 第 1 回講座（14:40～16:30）</p> <p>(1) 講義：社会における「お金」・「金融」の役割 （宮古地域振興センター 県内就業・キャリア教育コーディネーター 暮目 修 様）</p> <p>(2) 講義：職場で求められるコミュニケーションスキル （CO. COROサポート 代表 藤村 七美 様）</p> <p>3 今期の開催予定</p> <p>① 6 月 15 日（木）、② 6 月 22 日（木）、③ 6 月 29 日（木）、④ 7 月 5 日（水）、 ⑤ 7 月 14 日（金）、⑥ 7 月 21 日（金）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>注：「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク」について</p><ul style="list-style-type: none">・平成 13 年 11 月設立、会員数 222・代表 沿岸広域振興局副局長（宮古駐在）・事務局 宮古地域振興センター地域振興課・宮古・下閉伊地域の主要産業である農林水産業、食品製造業、木材産業、電気機器製造業等の産業界、関係機関・団体、行政機関等が連携し、新たな生産物・製品や独自技術の開発に取り組むことを目的に設立された、産学官連携組織。・ネットワーク内には、「工業部会」、「農産部会」、「林産部会」、「水産部会」の 4 部会に加え、横断的組織の「人材育成専門部会」及び「食産業振興会議」が設置されている。</div>
問合せ先	<事務局>宮古地域振興センター 特命課長 中村 （電話：0193-64-2217 内線 219）
特 徴	これまで 26 期の開催で延べ 731 名が受講し、地域の企業で活躍しています。
取材時の留意点	直接会場へお越しください（事前の取材申込みは不要です）。

モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第27期）開催要領

1 目的

新採用から概ね5年程度までの従業員を対象に社会人としての教養等を習得させ、産業人材を育成することにより、宮古地域の企業に人材が定着することを目的とする。

2 主催等

- (1) 主催：宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会
- (2) 共催：沿岸広域振興局、県立宮古高等技術専門校、宮古金型研究会
- (3) 後援：宮古市

3 期間：令和5年6月15日（木）～7月21日（金）／全6回、11講座

4 場所：宮古地区合同庁舎3階大会議室（宮古市五月町1-20）

5 定員：20～25名

6 研修内容

① いろいろな仕事を知る、② コミュニケーション、③ 社会人の教養、④ ものづくりの知識を柱に次のテーマで開催。

回	期日	テーマ	柱	講師
1	6月15日 (木)	開講式		人材育成専門部会会長 有限会社エムデー 代表取締役社長 佐々木 一志 氏
		社会における「お金」「金融」の役割	③	沿岸広域振興局宮古地域振興センター 県内就業・キャリア教育コーディネーター 臺目 修 氏
		職場で求められるコミュニケーションスキル	②	CO.CORO サポート 代表 藤村 七美 氏
2	6月22日 (木)	真鱈のブランド化について	①	共和水産株式会社 代表取締役専務 鈴木 良太 氏
		心と体の健康づくり	③	宮古保健所
3	6月29日 (木)	三陸鉄道と観光から考える地域活性化について（仮）	①	一般社団法人宮古観光文化交流協会 事務局長 赤沼 喜典 氏
		3S活動で人材育成	④	有限会社菊地電子工業 代表取締役 菊地 丙午 氏
4	7月5日 (水)	企業人としての心構え	③ ④	東北ヒロセ電機株式会社 取締役宮古工場長 畠山 雄次 氏
		身近な消費者トラブル	① ③	宮古市消費生活センター
5	7月14日 (金)	生活と法律	① ③	三陸うみねこ法律事務所 所長 弁護士 吉水 和也 氏
		プレゼン能力向上研修	① ②	事務局
6	7月21日 (金)	宮古市の新たなまちづくり	①	宮古市 産業振興部長 岩間 健 氏
		閉講式、修了証書授与、講評		人材育成専門部会会長 有限会社エムデー 代表取締役社長 佐々木 一志 氏

※日程やテーマは変更になる場合があります。

7 研修時間

14:30～17:00（16:40～17:00 は提出レポート作成）

8 受講料

6,000円（講師謝金、旅費、消耗品費等に充当）



報道機関への情報提供（再）

項 目	令和5年度宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会の開催について
日 時	令和5年6月8日(木) 15:00~17:10
場 所	宮古ホテル沢田屋（宮古市新町4-1）
内 容	<p>「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク」は、地域経済の活性化を目的に、工業、水産業、農業、林業の各分野が相互に連携し、新たなモノづくりをテーマに活動を展開しています。</p> <p>このたび、販路拡大、新技術開発及び人材育成等地域産業の安定的・持続的な経営基盤づくりに取り組んでいくため、総会等を開催します。</p> <ol style="list-style-type: none">主催 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク内容<ol style="list-style-type: none">総会<ol style="list-style-type: none">議事<ol style="list-style-type: none">会長挨拶役員紹介（※副会長及び各部部长）令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画<ol style="list-style-type: none">工業部会水産部会農産部会林産部会人材育成専門部会及び食産業振興会議その他会員への情報提供<ol style="list-style-type: none">第1部：「低コスト物流構築事業の結果報告と課題について」 講師：ヤマト運輸株式会社岩手法人営業支店 支店長 齊藤 哲也 氏第2部：「高鮮度物流事業を中心とした空輸による物流の取組」 講師：株式会社ジェイエア事業企画部事業開発グループ グループ長 谷口 伸 氏第3部：学生の就職動向等について 岩手県立大学宮古短期大学部宮古事務局 就職支援専門員 岡本 智子 氏
	<p>注：「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク」について</p> <ul style="list-style-type: none">平成13年11月設立、会員数222代表 沿岸広域振興局副局長（宮古駐在）事務局 宮古地域振興センター地域振興課宮古・下閉伊地域の主要産業である農林水産業、食品製造業、木材産業、電気機器製造業等の産業界、関係機関・団体、行政機関等が連携し、新たな生産物・製品や独自技術の開発に取り組むことを目的に設立された、産学官連携組織。ネットワーク内には、「工業部会」、「農産部会」、「林産部会」、「水産部会」の4部会に加え、横断的組織の「人材育成専門部会」及び「食産業振興会議」が設置されている。
問合せ先	<事務局>宮古地域振興センター特命課長 中村（電話：0193-64-2217 内線219）
特 徴	会員企業の「モノづくり力」の向上及び宮古・下閉伊地域における物流体制構築に向けた情報提供等を行います。
取材時の留意点	直接会場へお越しくください（事前の取材申込みは不要です）。



報道機関への情報提供

項 目	令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰の受賞及び伝達式開催
日 時	令和5年6月8日(木) 14:00~14:30
場 所	伝達式: 宮古地区合同庁舎 1階 第2会議室
内 容	<p>環境省では、毎年「みどりの月間」(4月15日~5月14日)中に、自然環境の保全に関して、顕著な功績があった方に対し、環境大臣表彰を実施しています。</p> <p>今般、宮古市から推薦のあった方2名について、県を通じて、環境省に被表彰候補者として報告していたところ、同省から、表彰を決定した旨の連絡がありました。</p> <p>つきましては、以下のとおり表彰伝達式を開催しますので、当日の取材方よろしくお願ひします。(別添「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰要綱参照)</p> <p>1 被表彰者</p> <p>(1) 畠山 安夫 (はたけやま やすお) 様 (個人、該当部門: 保全活動部門) 主な功績: 三陸復興国立公園内に位置し、三陸ジオパーク・ジオサイトの一つである三王岩及び展望台が所在する真崎地区において、平成19年からの長きにわたり、清掃や草刈、倒木の点検、ごみの持ち帰りや不法投棄防止等環境美化活動に取り組み、同地区の自然環境の保全に大きく貢献したこと。</p> <p>(2) 大森 真吾 (おおもり しんご) 様 (個人、該当部門: 保全活動部門) 主な功績: 三陸復興国立公園の中心に位置し、環境省みちのく潮風トレイル、国の名勝に指定されている浄土ヶ浜地区において、平成19年からの長きにわたり、清掃や草刈、倒木の点検、ごみの持ち帰りや不法投棄防止等環境美化活動に取り組み、同地区の自然環境の保全に大きく貢献したこと。</p> <p>2 表彰伝達者 宮古保健福祉環境センター所長 佐藤 徳行</p>
特 徴	<ul style="list-style-type: none">・環境省では、自然に親しみ、その理解と関心を深める期間として、5月4日の「みどりの日」を挟んだ4月15日~5月14日を「みどりの月間」に設定しています。・本表彰制度は、平成13年度に運用が開始されており、県内では、昨年度までに16者の団体または個人が表彰を受けています。宮古地区では、平成29年度以来の受賞となります。
取材時の留意点	—
問合せ先	宮古保健福祉環境センター 環境衛生課長 懸田 節 (電話: 0193-64-2218 内線240)

「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰要綱

平成13年2月5日
環自総第62号
一部改正平成14年1月28日
環自総第34号
一部改正平成19年1月19日
環自総発第070119001号
一部改正平成19年12月14日
環自総発第071214001号
一部改正平成27年5月15日
環自国発第1505151号
一部改正平成30年6月30日
環自国発第1806041号
一部改正令和元年11月7日
環自国発第1911073号

1 目的

本要綱は、自然環境の保全に関し、顕著な功績があった者(又は団体。以下同じ)を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的とする。

2 表彰者

環境大臣

3 表彰の対象

表彰は次の各号の一に該当する者につき行う。

- (1) 保全活動部門
貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者
- (2) いきもの環境づくり・みどり部門
地域における野鳥や小動物の生息環境の創出、あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者
- (3) 自然ふれあい部門
自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者
- (4) 調査・学術研究部門
自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する調査、研究で顕著な功績がある者
- (5) 国際貢献部門
自然環境の保全・創造や自然とのふれあいに関する国際協力を推進した者

4 表彰基準及び被表彰者の決定

被表彰者は、3の表彰対象分野において次の(1)～(3)のいずれかに該当する活動を行い、地方環境事務所長及び自然環境事務所長(釧路、信越、沖縄奄美)、都道府県知事、関係団体の長から推薦された者及び自然環境局長が表彰候補者として適当であると認める者の内から、環境省内に設けられた表彰選考委員会の審査を経て環境大臣が決定する。

- (1) 「国の宝」の保全に関する活動
ア 国又は世界レベルで保全すべき重要な自然(種・生態系・地域)の保全に関する活動
イ 伝統的品種、栽培法等の保全(保存)に関する活動
- (2) 自然環境に関する先駆的・先導的活動
ア 内容・方法等が先駆的な保全・創造・ふれあいに関する活動
イ 現在、広く普及している保全・創造・ふれあいに関する活動の先導的活動
- (3) 広範囲を対象とし、又は永年継続されている自然環境に関する普及啓発活動
ア 全国・ブロックレベル又は国際的な普及啓発活動
イ 永年にわたり継続されている普及啓発活動

5 表彰の対象から除外する者

以下のいずれかの事項に該当する者については、4によらず対象から除外する。

- (1) 勲章受章者及び同一事由による褒章受章者
- (2) すでに他の表彰制度による環境大臣(環境庁長官を含む)の表彰を受けている者

6 推薦方法

表彰候補者の推薦は、地方環境事務所長及び自然環境事務所長(釧路、信越、沖縄奄美)、都道府県知事及び関係団体の長が行うものとし、推薦に当たっては別紙様式1～3に従って作成するものとする。

なお、推薦後表彰決定までの間、表彰候補者の身上等に異動があった場合は、直ちに報告するものとする。

7 被表彰者の人数

若干名とする。

8 表彰の方法

被表彰者に対し、「みどりの月間」中に表彰状及び記念品を授与する。



報道機関への情報提供

項 目	令和5年度クリーンいわて行動の日
日 時	令和5年6月14日(水) 17:25~18:30
場 所	宮古市及び岩泉町中心部(出発: 県宮古地区合同庁舎、県岩泉地区合同庁舎)
内 容	<p>「クリーンいわて運動」の一環として、環境月間である6月に県職員が自ら率先して宮古地区及び岩泉地区で清掃活動を行うものです。</p> <p>本取組は、地域におけるごみのポイ捨てや不法投棄の防止、県民の安全で快適な生活環境の保持、ごみの3R(リデュース: ごみの発生抑制、リユース: 再使用、リサイクル: 再生利用)を促進するとともに、きれいな街づくりに貢献し、「おもてなしの心」で観光客を迎えることを目的としています。</p> <p>当日の取材方よろしくお願ひします。</p> <ol style="list-style-type: none">日時 令和5年6月14日(水) 17時25分~18時30分 ※小雨決行(雨天の場合は6月15日(木)に延期) ○スケジュール 17時25分 職員集合・出発式(宮古地区合同庁舎・岩泉地区合同庁舎前) 17時30分 清掃活動開始 18時30分 清掃活動終了(各合同庁舎前で可燃物・不燃物に分けてごみを回収) ~ 各自解散清掃活動区域 宮古市中心部及び岩泉町中心部(別紙図面のとおり)活動方法 宮古市内は8班、岩泉町内は2班を編成し、班ごとに清掃区域・ルートを割り当てる。参加予定者 約300人(令和元年度実績: 宮古地区179人、岩泉地区84人、計263人) 県宮古地区合同庁舎及び県岩泉地区合同庁舎勤務職員(非常勤職員、臨時職員を含む。)
特 徴	<ul style="list-style-type: none">本活動は、宮古地区と岩泉地区で同時に実施する県職員による清掃活動で、昭和59年から実施しているものです。また、今後、宮古港には6/23のハンセアティック・ネイチャー号、8/4のMSCベリッシマ号等、大型クルーズ船の寄港が予定されており、県民の方へのごみ不法投棄撲滅の普及啓発とともに、世界中から宮古地域においでになるクルーズ船利用客の方をきれいな街で歓迎することを目的に実施します。なお、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため活動を自粛していましたが、同感染症の5類感染症移行を踏まえ、今年度は4年振りに環境月間である6月に上記のとおり開催することとしているものです。
取材時の留意点	小雨決行としますが、雨天の場合は6月15日(木)に延期します。
問合せ先	宮古保健福祉環境センター 環境衛生課長 懸田 節 (電話: 0193-64-2218 内線240)

令和5年度

「県職員によるクリーンいわて行動の日（宮古地区・岩泉地区）」実施計画書

沿岸広域振興局保健福祉環境部
宮古保健福祉環境センター

1 目的

県職員自らが率先して環境美化活動を行うことにより、地域におけるゴミの排出抑制及び不法投棄等を防止し、安全で住み良い生活環境の確保に寄与することを目的とする。

2 実施日

令和5年6月14日（水） ※小雨決行（雨天時は6月15日（木）～延期）

3 実施時間等

17時25分 職員集合・出発式（宮古地区合同庁舎・岩泉地区合同庁舎前）

17時30分 清掃活動開始

18時30分 清掃活動終了（各合同庁舎前で可燃物・不燃物に分けてごみを回収）

～ 各自解散

4 実施主体

沿岸広域振興局

（事務局（本部）：宮古保健福祉環境センター（宮古地区合同庁舎の進行管理））

（事務局（支部）：岩泉土木センター（岩泉地区合同庁舎の進行管理））

5 清掃活動区域

宮古市中心部及び岩泉町中心部

6 活動形態

複数の班を編成し、班ごとに指定された区域内において清掃活動を行う。

7 参加対象者

宮古地区合同庁舎及び岩泉地区合同庁舎勤務職員（会計年度任用職員を含む。）

【担当】宮古保健福祉環境センター 環境衛生課 沖田（内線 233）

R5 宮古地区清掃活動区域



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN

R5 岩泉地区清掃活動区域





項 目	ブロッコリー栽培体験学習について				
日 時	令和5年7月14日（金） から11月18日（土）まで（※ 詳細は別紙のとおり）				
場 所	宮古市立花輪小学校（宮古市花輪4-26）、岩泉町立小本小学校（岩泉町小本字南中野145）				
内 容	<p>宮古農林振興センターと宮古地方農業振興協議会では、宮古地域特産のブロッコリーの認知度向上を図るため、宮古市立花輪小学校及び岩泉町立小本小学校協力の下、ブロッコリー栽培体験学習を実施します。</p> <p>内容は、宮古地域の農業の概要からブロッコリーの定植、栽培管理、収穫、販売までを予定していますので取材のうえ、広く報道いただきますようお願いいたします。</p> <p>1 期間 令和5年7月14日（金）から11月8日（土）まで</p> <p>2 場所 (1) 宮古市立花輪小学校（宮古市花輪4-26） (2) 岩泉町立小本小学校（岩泉町小本字南中野145）</p> <p>3 人数 (1) 宮古市立花輪小学校 30人程度 (2) 岩泉町立小本小学校 10人程度</p> <p>4 参加者 (1) 宮古市立花輪小学校 5年生27人、生産者：よしはま農園代表 吉濱孝明 氏、宮古農林振興センター職員 ほか (2) 岩泉町立小本小学校 3年生6人、生産者：加藤榮喜 氏、宮古農林振興センター職員 ほか</p> <p>5 主催者 宮古農林振興センター、宮古地方農業振興協議会、宮古市立花輪小学校、岩泉町立小本小学校、宮古農業改良普及センター</p> <p>6 その他 栽培体験学習は、花輪小学校で6回、小本小学校で3回を予定しています。</p>				
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 宮古地域のブロッコリーは県内生産の約65%を占め、県内一を誇ります。 ※令和4年度実績：生産量：(宮)268t/(県)467t、販売額：(宮)96百万円/(県)146百万円 ブロッコリー栽培体験学習の取組は昨年からは開始し、年々開催校を拡大しています。 生産者自らが講師として授業を行います。 小学校における総合学習の時間を活用し、地域の産業を学びます。 				
取材時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 取材時は、手指消毒、マスクの着用にご協力をお願いします。 				
問合せ先	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 宮古市立花輪小学校 【担当】 副校長：熊谷 （電話：0193-69-2022） </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 岩泉町立小本小学校 【担当】 副校長：佐瀬 （電話：0194-28-2115） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; vertical-align: top;"> 沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター 農業振興課 【担当】 堀間、佐藤 （電話：0193-64-2214 内線268） </td> </tr> </table>	宮古市立花輪小学校 【担当】 副校長：熊谷 （電話：0193-69-2022）	岩泉町立小本小学校 【担当】 副校長：佐瀬 （電話：0194-28-2115）	沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター 農業振興課 【担当】 堀間、佐藤 （電話：0193-64-2214 内線268）	
宮古市立花輪小学校 【担当】 副校長：熊谷 （電話：0193-69-2022）	岩泉町立小本小学校 【担当】 副校長：佐瀬 （電話：0194-28-2115）				
沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター 農業振興課 【担当】 堀間、佐藤 （電話：0193-64-2214 内線268）					

報道機関への情報提供

全体スケジュール及び実施概要（予定：日時のカッコは予備日）

1 宮古市立花輪小学校

日時	内容	時間
7/14(金)10:25~11:10	・宮古地域の農業の現状、特産品目であるブロッコリーの栽培方法の学習（出前事業：座学）	1時限分 (45分)
8/23(水)9:30~11:00 〔8/24(木)9:30~11:00〕	・ほ場での学習（定植・管理作業） ・ほ場の準備や定植の方法、育苗管理を学習 ・定植直後のほ場で、苗の観察及び状況確認 ・観察日記又は成長記録の作成	2時限分 (90分)
9/12(火)9:30~11:00 〔9/13(水)9:30~11:00〕	・ほ場での学習（栽培管理作業） ・除草や防除等の栽培管理作業を体験 ・生育の状況を確認し、観察日記又は成長記録の作成	2時限分 (90分)
10/30(月)13:30~15:00 〔10/31(火)13:30~15:00〕	・ほ場での学習（収穫・調製作業） ・収穫・調製作業を体験 ・観察日記又は成長記録の作成	2時限分 (90分)
11/2(木)9:15~10:00	・収穫後のほ場や生産物の状況、これまでの学習の振り返り、まとめ（出前事業：座学）	1時限分 (45分)
11/18(土)	・学習発表会 ・学習成果を発表 ・ブロッコリーの模擬販売体験	1時限分 (45分)

2 岩泉町立小本小学校

日時	内容	時間
7/19(水)10:45~11:30	・宮古地域の農業の現状、特産品目であるブロッコリーの栽培方法の学習（出前事業：座学）	1時限分 (45分)
8/25(金)9:30~11:00 〔8/28(月)9:30~11:00〕	・ほ場での学習（定植・管理作業） ・ほ場の準備や定植の方法、育苗管理を学習 ・定植直後のほ場で、苗の観察及び状況確認 ・観察日記又は成長記録の作成	2時限分 (90分)
11/7(火)13:30~15:00 〔11/8(水)13:30~15:00〕	・ほ場での学習（収穫・調製作業） ・収穫・調製作業を体験 ・観察日記又は成長記録の作成	2時限分 (90分)



報道機関への情報提供

項 目	田の浜地区復旧整備工事完成式の開催について
日 時	令和5年6月20日(火) 10:30~11:15
場 所	山田町田の浜コミュニティセンター建物内(下閉伊郡山田町船越第14地割33-15)
内 容	<p>令和元年台風第19号により甚大な被害が発生した山田町田の浜地区において、町と県が進めてきた復旧工事が全て完成したことから、令和5年6月20日(火)に町と県の共催により完成式典を開催することとしたのでお知らせします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 開催日時: 令和5年6月20日(火) 10:30~11:152 開催場所: 山田町田の浜コミュニティセンター建物内3 主催者: 山田町、岩手県沿岸広域振興局宮古土木センター4 出席予定者: 山田町長、副町長、町議会議員、地元関係者、地元代表、船越小学校6年生、地元選出の県議会議員、施工企業、沿岸広域振興局副局長、5 その他: 船越小学校6学年の生徒代表から、昨年度実施の防災学習出前講座の振り返りについて発表予定。
特 徴	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 山田町の事業概要(一部県代行含む)<ul style="list-style-type: none">・ 事業期間: 令和元年~令和4年度・ 事業費: 約7.3億円・ 事業内容: 河川改修、公園改良陸閘整備、水門拡幅、水路拡幅 等○ 県(宮古土木センター)の事業概要<ul style="list-style-type: none">・ 事業期間: 令和元年~令和5年度・ 事業費: 約10.5億円・ 事業内容: 砂防堰堤、溪流保全工 等
取材時の留意点	<ul style="list-style-type: none">・ 取材を希望される報道機関の方には、事前に駐車カードを送付しますので6月14日(水)までに別紙により申し込み願います。・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた予防対策に御協力願います。・ 船越小学校の生徒で、報道取材で撮影不可の生徒がいますので御配慮願います。・ 雨天決行としますが、荒天により式典を中止する場合は別途お知らせします。
問合せ先	宮古土木センター河川港湾課 河川港湾課長 大村 学(電話: 0193-64-0031 内線381)

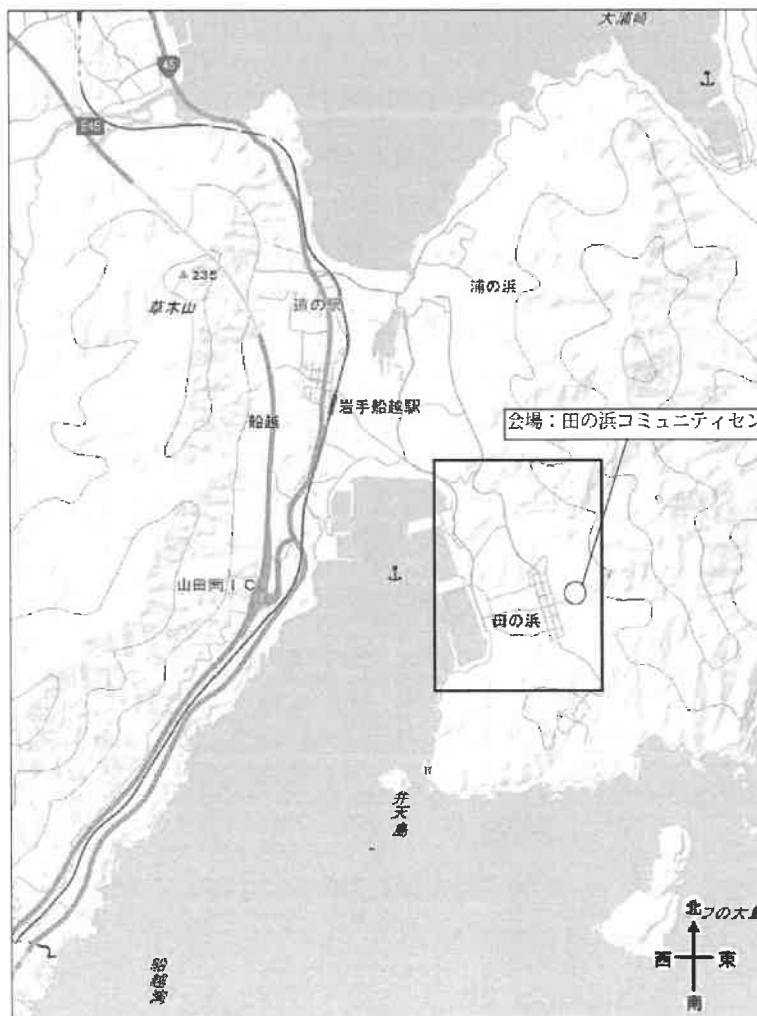
F A X 用紙

岩手県沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター

完成式典担当 行き FAX番号 0193-64-2288



会社名	
駐車カードの連絡先	住所
	F A X 番号： メールアドレス：
連絡担当者	氏 名
	部署名
	電話番号 ()

(式典案内図)



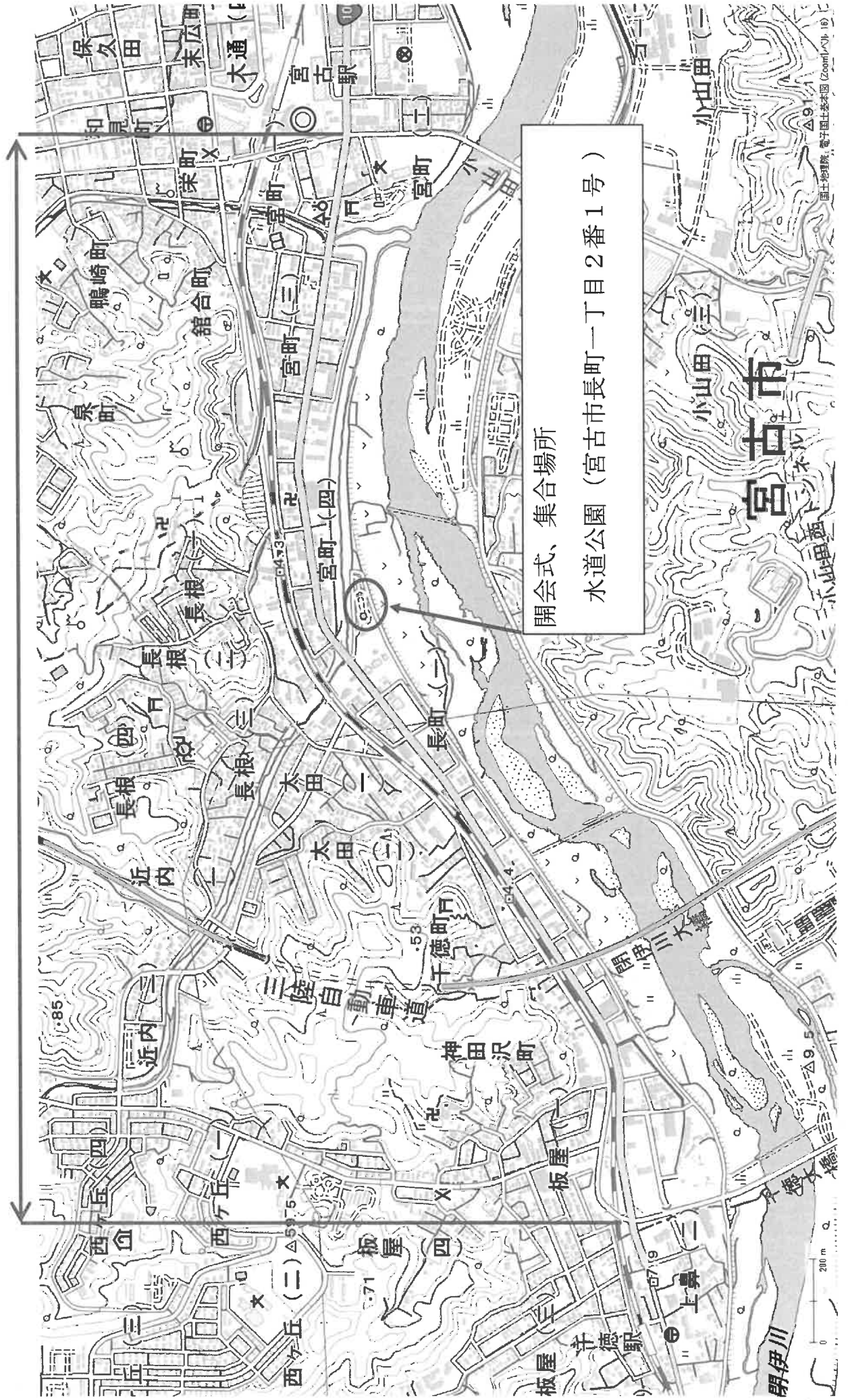


報道機関への情報提供

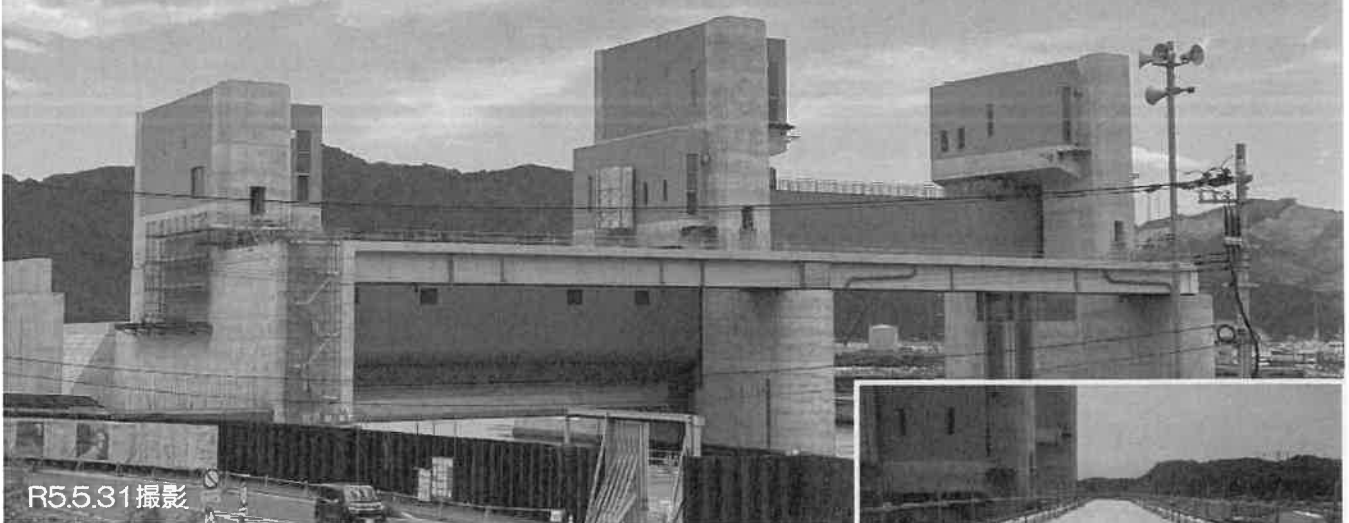
項 目	令和5年度宮古の道クリーン作戦の実施について
日 時	令和5年6月28日(水) 15:00~16:30 (14:45~報道受付)
場 所	宮古市 一般国道106号(宮町交差点~千徳交差点)
内 容	<p>8月10日の「道の日」の関連行事として、(一社)岩手県建設業協会宮古支部と沿岸広域振興局土木部宮古土木センターの共催により、宮古市中心部の道路のゴミ拾い、草刈りなどを行う「宮古の道クリーン作戦」を実施します。</p> <p>この取組は、例年、8月上旬に実施していましたが、熱中症を予防するため、令和4年度からは時期を早めて6月に実施しているものです。</p> <p>当日の取材について、よろしくお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none">1 日 時：6月28日(水) 15:00~16:302 集合場所：宮古市 水道公園(千徳第4地割)3 実施箇所：一般国道106号(宮町交差点~千徳交差点)(宮古市宮町2丁目~上鼻2丁目)4 実施内容：道路路肩、歩道のゴミ等の除去・清掃、草刈り5 参加人数：約80人(予定)6 主 催：宮古土木センター(道路管理者)7 共 催：(一社)岩手県建設業協会宮古支部8 スケジュール：15:00 開会式(主催者あいさつ・作業説明等) 15:30 清掃活動スタート(16:30終了予定) <p>【参考】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>昨年度の実施状況</p></div><div style="text-align: center;"><p>昨年度の実施状況</p></div></div>
特 徴	<ul style="list-style-type: none">・国土交通省では、道路を利用する国民の方々に、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識し、道路を常に広く、美しく、安全に利用していただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や啓発等の各種活動を推進しており、昭和61年度に8月10日を「道の日」と制定しています。
取材時の留意点	<ul style="list-style-type: none">・天候の悪天など見込まれる場合は、前日の17時まで中止を決定します。(取材を予定している場合は事前に連絡をお願いします)・小雨決行とします。・8月初旬に行われる、道の日 in 宮古(クリーン作戦)[主催者：宮古道路を守る会]とは異なるイベントです。
問合せ先	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 道路整備課長 西村 貴之、土木技術企画チーム 主任主査 照井 修 電話：0193-64-2221

道の日クリーン作戦 R5.6.28(水) 位置図

清掃範囲 一般国道106号 千徳交差点(宮古市千徳上鼻2丁目) ~ 宮町交差点(宮古市宮町1丁目) L=1.4km



管理橋（左岸側）の上部工が完了しました！



R5.5.31撮影

左岸(光岸地地区)側では、水門管理橋の設置を進めており、令和5年5月に管理橋(P1-P3間)の上部工が完了しました。工事中は水門航路部の通行規制を実施し、御利用の皆様には御不便をおかけしました。御協力ありがとうございました。



R5.5.31撮影 管理橋天端

右岸(藤原地区)側では堰柱を立ち上げるための基礎工事に着手します。



右岸(藤原地区)側では、6月中旬から水門本体の基礎杭の打設工事を行います。(施工期間:R5.6月~R6.9月)

基礎杭は1本あたりの太さ約80cm~1mの杭を約400本、地中の支持層となる岩盤まで打ち込みます。

閉伊川は右岸側の岩盤が深い位置にあることから、基礎杭は長いもので約45mになります。

令和5年5月28日に開催した現場見学会では、基礎杭打設の工事前状況を確認いただきました。

工事に伴い、振動や騒音など近隣住民の方には御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

**基礎工事着手に伴い、
現場見学会を開催しました。**



R5.5.28

閉伊川水門は、宮古市街地を津波から守るため閉伊川河口部に建設中の国内最大級の津波水門です。

~かわら版に関する問い合わせ先~
沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 復興まちづくり課
【TEL】0193-65-0032



出水期への備えを！

これから梅雨や台風の時期を迎えます。近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことの無いような豪雨が全国各地で発生していることから、自然災害から身を守るための備えが重要となっています。

水害のリスクや避難場所、避難経路を事前に確認

岩泉町において、土砂災害や洪水災害などの危険区域を示した「岩泉町身近な防災マップ」を発行しています。

発生する災害の種類によって、避難する場所が異なる場合がありますので、防災マップによりあらかじめ自宅周辺の避難場所、避難所を確認しておきましょう。

なお、同マップは岩泉町ホームページでも閲覧できます。

<URL>

<https://www.town.iwaizumi.lg.jp/docs/2016072600022/>

(例)「岩泉町身近な防災マップ」より抜粋

洪水浸水想定凡例
Estimated flood depth information

- 0.5m未満
Less than 0.5m
- 0.5～3.0m未満
0.5 - less than 3.0m
- 3.0～5.0m未満
3.0 - less than 5.0m
- 5.0m以上
5.0m or more

平成26年台風10号の冠水被害エリア
Inundation area caused by Typhoon Lionrock 2016

津波浸水想定凡例
Estimated inundation area of tsunami

津波危険エリア
Dangerous area of tsunami

避難場所凡例
Shelter information

気象情報や河川情報に注意

水害時に避難行動を取るためには、近くを流れる河川の水位や雨量の情報、気象警報などを把握することが重要です。

河川の水位や雨量の情報は、「岩手県河川情報システム」で確認することができます。あらかじめ水位観測所の位置や避難を判断するための目安となる水位（氾濫危険水位）を確認しておきましょう。

岩手県 河川情報システム

用語集>

トップ	観測位置▼	水位▼	雨量▼	ダム雨量▼	水防警!		
水位経過表 (1/1) ページ切替: < 前ページ 次ページ > 観測所: 赤鹿							
表示範囲: [観測] [10分] 時刻切替: < 戻る 進む > 観測時刻: 2023年05月2							
河川名	小本川	小本川	大川	松野川	菅代川	安藤川	
観測所名	赤鹿	六沢	下宮	松野川	子木部	板橋	
氾濫危険水位	3.80					2.80	
避難危険水位	3.30					2.20	
沿岸浸水水位	3.10					2.00	
水防設備水位	2.50					1.70	
月/日 時:分	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)	水位 (m)	
盛岡地区	05/24 08:00	1.44	0.84	0.62	0.24	0.87	0.86
花巻地区	05/24 07:00	1.45	0.84	0.62	0.24	0.87	0.86
北上地区	05/24 06:00	1.43	0.84	0.62	0.24	0.87	0.86
奥州地区	05/24 05:00	1.43	0.84	0.62	0.24	0.87	0.86
一関地区	05/24 04:00	1.43	0.84	0.62	0.24	0.86	0.85
	05/24 03:00	1.43	0.84	0.62	0.24	0.86	0.85
	05/24 02:00	1.43	0.84	0.62	0.24	0.86	0.85

<ちなみに>赤鹿水位観測所は、河川事業により架け替えた赤鹿橋付近に水位計を移し、4月28日から基準水位を見直しています。



岩手県河川情報システムはこちらから閲覧できます↓

<http://kasen.pref.iwate.jp/iwate/servlet/Gamen30Servlet>

なお、携帯・スマートフォン向けのサイトも開設していますので、ぜひご活用ください。

携帯・スマートフォン向け
モバイルサイトはこちらから→



～かわら版に関する問い合わせ先～
沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

【TEL】0194-22-3110(用地課)

0194-22-3111(道路整備課)

0194-22-3116(管理課)

0194-22-3114(建築指導課)

0194-22-2890(河川、海岸、砂防)

携帯・スマートフォンからはこちら





令和5年6月以降の主な行事予定について（令和5年6月7日現在）

市町村	行事等	備考	
管内共通	・宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会（6/8（木）、ホテル沢田屋） ・モノづくりの出来る人づくり寺子屋開校式（6/15（木）、宮古合庁） ・いわて復興未来塾（7/9（日）宮古市地域創生センター）		
	・自然環境功労者環境大臣表彰伝達式（6/8、宮古合庁） ・クリーンいわて行動の日（清掃活動）（6/15、17:20～）		
	・パート等向け農作業体験会（6/9（金））		
	・岩手県乾しいたけ品評会審査会（6/8（木））・褒章授与式（6/15（木）） ・乾しいたけ試食販売会（7月上旬、イオンタウン釜石）		
	・土砂災害危険箇所点検パトロール（宮古市6/9、山田町6/16、田野畑村6/13、岩泉町6/23） ・宮古地区合同工事現場パトロール（宮古市、山田町） 6/21（水） ・岩泉地区工事安全協議会合同パトロール（岩泉町、田野畑村）6/23		
	・いわて県産サーモンフェア（6/1（木）～6/30（金）県内量販店、飲食店）		
	・管内市町村長ジオパークツアー（中部地区8/3） ・三陸ジオパークシンポジウム（8/6）		
	宮古市	・宮古港クルーズ船寄港（4月～10月、7隻） 6/23(金) ハンセアティック・ネイチャー（230人） 8/4(金) MSCベリッシマ（4,488人） 10/17(火) ウエステルダム（1,964人） 10/26（木）レガッタ（684人） ・うみねこ丸就航一周年記念行事 7/15（土）～7/17（月）	
		・宮古の道クリーン作戦（6/28（水）） ・宮古港藤原埠頭保安訓練（7月予定）	
		山田町	・田の浜地区復旧整備工事完成式（6/20(火)） ・道の駅やまだ「おいすた」オープン（7月予定）
岩泉町	・小川中学校出前講座（土砂災害）（6/2（金）） ・小本小学校出前講座（土砂災害）（6/16（金））		
	田野畑村	・田野畑小学校出前講座（津波）（6/21（水））	

令和5年度第1回



いわて復興未来塾

新しい三陸の創造 ～人・モノ・コトの交流～

併催:いわて三陸復興フォーラム(沿岸報告会)・「いわての復興を自治の進化に」第10回シンポジウム

参加無料

盛岡 発着
シャトルバス を運行
(定員40名)

2023年7月9日 日

お申込みはこちらの
QRコードから →
参加申込〆切
6月26日(月)



定員 40名 午前の部:エクスカーション

10:00～11:00

田老の学ぶ防災ガイド

- 田老防潮堤、津波遺構「たろう観光ホテル」見学
- 津波映像の上映

※ 徒歩移動があります。動きやすい服装で御参加ください

【ガイド】元田 久美子氏

(一般社団法人宮古観光文化交流協会 学ぶ防災ガイド)



元田 久美子氏



【津波遺構】たろう観光ホテル

田老の学ぶ
防災ガイド
詳細は
コチラ!



★シャトルバス利用者限定★

ランチは浄土ヶ浜で宮古名物「瓶ドン」をお楽しみいただきます! ※希望者のみ(ランチ料金は別途頂戴いたします)

定員 70名 午後の部:いわて復興未来塾

13:30～15:30

会場:宮古市地域創生センター(うみまちひろば) 4階多目的ホール

13:30 開会・知事挨拶 (宮古市神林3番1号(旧宮古警察署) TEL:0193-65-7133)

13:35 事例報告① 復興と地域を担う若い世代の未来を支える取組
早川 輝氏
【NPO法人みやっこベース 理事長】



早川 輝氏



楠田 拓郎氏

14:10 事例報告② 地域の人・文化・魅力を活用した観光振興の取組
楠田 拓郎氏
【NPO法人体験村・たのはたネットワーク 理事長】

14:45 事例報告③ 復興道路と空路を活用した県産品の販路開拓に向けた挑戦
佐々木 邦晃氏 【日本航空(株) 鹿児島支店 副支店長】



佐々木 邦晃氏

15:20 総評

15:30 閉会

会場の様子は、YouTubeチャンネル

岩手県公式動画チャンネル でライブ配信します!



エクスカーション	田老防潮堤・津波遺構「たろう観光ホテル」 「学ぶ防災ガイド」の案内により、東日本大震災津波で甚大な被害のあった宮古市田老地区の現状や当時の状況を、防潮堤に上って視察します。また「たろう観光ホテル」において、このプログラムでしか視聴することのできない同ホテルに押し寄せる津波映像をご覧いただけます。 ※「たろう観光ホテル」の施設内部は、ガイドの同伴を条件として立ち入りが許可されるものです。
いわて復興未来塾 事例報告	<p>はやかわ あきら 早川 輝氏 (NPO法人みやっこベース 理事長) 1987年生まれ、福岡県北九州市出身。九州工業大学卒業後、オーストラリアに2年間滞在し、2011年に帰国。同年6月から災害ボランティアとして宮古市で活動をスタート。2013年に「ユースみやっこベース」を設立し、高校生が宮古の今とこれからを考えるサミットの開催、地元企業とのコラボ商品開発、フリースペース「みやっこハウス」の開設などを実施。2015年から「NPO法人みやっこベース」として、10年間に渡り「若者が活躍できるまち・宮古」をテーマに、地域の活性化に尽力。</p> <p>くすだ たくろう 楠田 拓郎氏 (NPO法人体験村・たのはたネットワーク 理事長) 東京都出身。大学を卒業し東京で勤務した後、2006年12月に田野畑村に移住。2017年6月から同NPOの理事長に就任。「体験村・たのはた 番屋エコツーリズム」という考え方のもと、サッパ船アドベンチャーズ、みちのく潮風トレイルガイド、大津波語り部活動、漁師（ハンモウド）の塩作りなど、様々な自然体験プログラムを提供。</p> <p>ささき くにあき 佐々木 邦晃氏 (日本航空㈱九州支社 鹿児島支店 副支店長) ※ 2020年4月から2023年3月まで、岩手県商工労働観光部産業経済交流課にセールスディレクターとして勤務 1996年に日本エアシステム (JAS) のグループ会社に入社。法人セールスや添乗員、社員教育部門でのファシリテーター、地域と連携したインバウンド誘致などを担当し、2020年に岩手県と日本航空 (JAL) が行う人材交流の第一号として岩手県に着任。JALグループのJ-AIR協力のもと、大阪国際空港で実施している「ITAMI空の市」などと連携し、県内事業者や生産者と共に、復興道路と空路を活用した高鮮度の県産品の販路拡大に挑戦。</p>

みやっこベース



体験村・たのはたネットワーク



いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。
このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり=人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内 (乗車定員：40人)

【往路】盛岡駅西口 7:45発 ⇒ 県庁 8:00発
⇒ 道の駅たろう 9:50着
～ エクスカーション ～ 11:25発
⇒ 浄土ヶ浜レストハウス 11:50着
～ 昼食休憩 (1時間) ～ 12:55発
⇒ うみマチひろば 13:10着

- ※ 座席数に限りがありますので、申込みはお早めをお願いします。
- ※ 乗車中のマスク着用は、参加者個人の判断で着脱願います。
- ※ シャトルバス利用者の駐車場はご用意しておりません。
- ※ ランチ料金は、当日バス乗車時に現金にて頂戴いたします。

【復路】うみマチひろば 15:40発
⇒ 県庁17:20着 ⇒ 盛岡駅西口17:35着 (予定)

申込締切


2023年6月26日(月)

問い合わせ

いわて未来づくり機構 (事務局：岩手県復興防災部復興推進課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL：019-629-6945 E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込方法 いずれかの方法で申込みください

①QRコードで申込み
リンク先の専用フォームから必要事項を入力の上、お申込みください。
お申込みはこちらから →



②メールで申込み **お申込み先：AJ0001@pref.iwate.jp**
件名を「第1回いわて復興未来塾」として、下記の必要事項をご記入の上、お申込みください。
①氏名 (ふりがな) ②職業・所属・団体名等 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
⑥参加希望プログラム (全て・午前のみ・午後のみ) ※いずれかを選択
⑦交通手段 (シャトルバス盛岡駅西口乗車・シャトルバス県庁乗車・自家用車利用) ※いずれかを選択
⑧昼食メニュー (宮古産トウトサモの瓶ドン 1,500円・煮干し中華そばとミカレセット 1,000円・不要) ※いずれかを選択 (シャトルバス利用者のみ)

③郵送での申込み ※6月26日必着でお願いします。 ※ 定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、お申込みください。 ※ 自家用車は、各会場付近に駐車可能です。詳細は参加申込後に別途お知らせします。

第1回いわて復興未来塾 参加申込書

ふりがな 氏名	職業・所属 団体名等
〒 住所	電話番号 (携帯番号推奨)
メール	

参加希望プログラムを○で囲んでください **【全て・午前のみ・午後のみ】** シャトルバス利用希望 (乗降車場所) 又は自家用車利用を○で囲んでください **【シャトルバス盛岡駅西口・シャトルバス県庁・自家用車】**

希望するランチメニューを○で囲んでください **【宮古産トウトサモの瓶ドン 1,500円・煮干し中華そばとミカレセット 1,000円・不要】** ※シャトルバス利用者のみ

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾(今後の開催予定の告知を含む)」以外の用途には一切使用しません。

サ ー モ ン

IWATE
SALMON
FAIR

いわて県産

食べて感動！
いわての新定番



このマークが目印!



キャンペーンシールを2枚集めて岩手のいいものをゲットしよう!

フェア プレゼントキャンペーン

実施期間
(シール配布期間)

2023年6月1日(木) から
2023年6月15日(木) まで

応募方法

- ① 対象のいわて県産サーモンをお買い求めください。
- ② 自印のサーモンマークを2枚、店内設置の応募用紙に剥がれないようにしっかりと貼り、必要事項・アンケートをご記入の上、店内備え付けの応募箱へご投函ください。

参加店情報

岩手県内ベルジョイス各店 (ビッグハウス、ジョイス、スーパーアークス、ベルプラス、スーパーロッキー、ロッキー)
*ビッグハウス上盛岡店・ビッグプロは除く

応募締切

2023年6月18日(日) まで

当選発表

厳正な抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
(7月中旬発送)



ご応募いただいたお名前を記載できません。また、ご記入内容が不明な場合は、抽選結果に際し既述させて頂き、その個人情報をお客様の承諾なくして公開致しお詫言います。抽選結果・抽選する事はございません。【抽選により抽選、抽選を要せられた場合は除く】



お問い合わせ先(キャンペーン専用) TEL 019-625-1342



料理レシピコンテスト

近年岩手県沿岸で養殖生産が進められている「いわて県産サーモン」について、
その美味しさを県民の皆様にも知ってもらおうべく、

「いわて県産サーモン 料理レシピコンテスト」を開催します！



グランプリ受賞の方には
田清グループ共通
お食事・お買い物券
10,000円分

入賞者には
ベルジョイスギフト券
5,000円分

プレゼント!

また、テレビ岩手「5きげんどようび」のクッキングコーナーで1位レシピを紹介!

審査員紹介

審査員は岩手のお魚に精通した専門家を含む3名。



Aコープ飯岡駅前店「純情館」
小松 尚さん

盛岡市出身。テレビ岩手の情報番組「5きげんテレビ」夕方の料理コーナーの企画に長年にわたり出演。「魚博士」として、「岩手」季節ごとの旬なお魚情報を発信しています。



鯨清次郎柴波店 店長
石川 光彦さん

一関市大森町出身。テレビ岩手「5きげんテレビ」クッキングコーナーで、簡単にできるお魚料理を提案。持ち前の明るさで集客の密着に愛されて日々奮闘中。



テレビ岩手 アナウンサー
中島 あずかさん

2019年テレビ岩手入社。「5きげんテレビ」でリポーターを務めるほか、MCを務める情報番組「5きげんどようび」ではクッキングにも挑戦。



サ

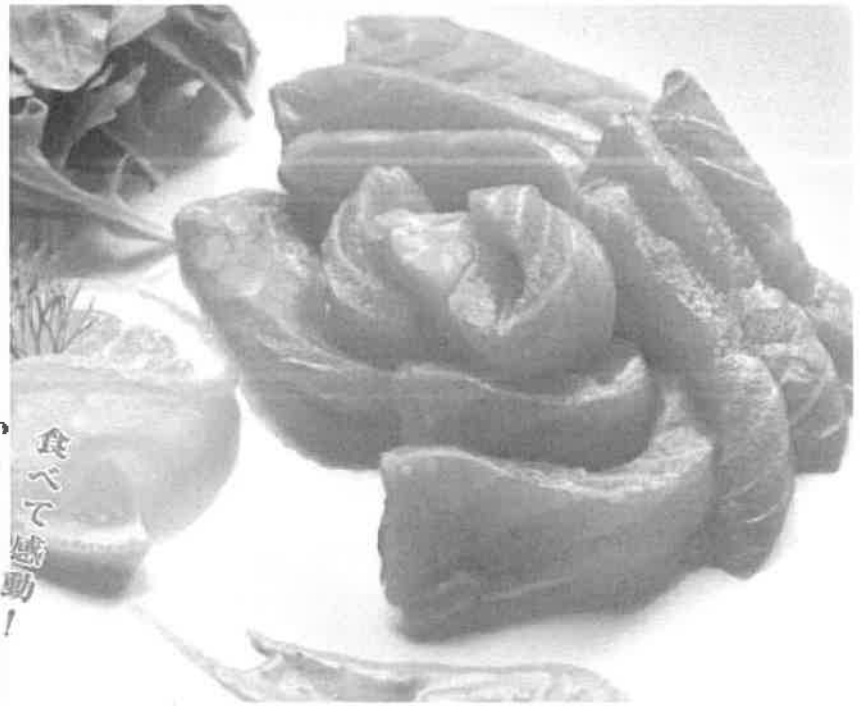
いわて県産

IWATE SALMON FAIR

モ

フェア

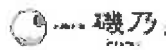
食べて感動！
いわての新定番。



参加飲食店 (アイクラウト含む)



フェザン、イオンモール、SEVENJO、丸清次郎、水沢登、磯乃、田清魚店、SUGAR、GINGADO、鮮かぐら



【フェザン本館B1】

【フェザン本館B1】

【フェザンカマムB館1F】

【フェザンおでんA館1F】

提供
期間

6.16 (金) から 6.30 (金) まで





宮古

うみねこ丸フェスティバル



7月15日(土)

運航開始1周年記念セレモニー

時間 午後12時20分～午後2時
 内容 ①市長あいさつ
 ②主催団体会長あいさつ
 ③みやこ遊覧船音頭披露
 ④紅白餅・お菓子まき
 ⑤記念撮影
 ⑥記念乗船
 【13:10_発/14:00_着】

サンセット&ナイトクルーズ
 時間 午後5時30分～午後8時10分
 内容 ①17:30_発/18:10_着
 ②18:30_発/19:10_着
 ③19:30_発/20:10_着
 備考 乗船者にはワンドリンクと軽食を提供
 乗船料は1,500円

7月16日(日)

花火打ち上げ
 時間 午後7時15分～30分
 場所 藤原心頭(企画課調整中)

花火鑑賞貸切遊覧船
 時間 19:00_発/20:00_着
 特記 乗船料は5,000円
 岩手県北自動車が募集

7月15日(土)/16日(日)

「宮古うみねこ丸」夜市

時間 午後6時～午後9時
 内容 会場内をライトアップ
 屋外フードコートを開催
 「盆踊り」も同時開催
 特記 1830-1930

7月15日(土)～17日(月・祝)

郷土芸能等ステージ出演

時間 ①午後1時 ②午後2時(各40分)
 内容 15日 ①黒森神楽/
 ②花輪鹿子踊り
 16日 ①中川太治の会/
 ②宮古あばれ太鼓
 17日 ①山口太鼓の会/
 ②小田代直子

遊覧船臨時便運航

時間 午後12時10分_出_崎心頭_発
 午後1時00分_出_崎心頭_着
 内容 昼休憩時間も臨時便運航

飲食ブース出店

時間 午前10時～午後6時
 内容 屋外フードコートを開催

2023年 宮古港へのクルーズ船寄港予定について

2023.3.14現在

4月22日(土) 入港 8:00 / 出港 18:00	寄港済 ダイヤモンド・プリンセス(4年ぶり2回目) 総トン数:115,875トン、全長:290m、全幅:38m、船籍:イギリス 乗客定員:2,706人(8割程度が欧米系外国人の見込み)、乗組員数:1,100人	山田境田虎舞出演 東北と九州・韓国 10日間 (前港:ひたちなか 次港:青森)
4月30日(日) 入港 8:00 / 出港 18:00	寄港済 初 シルバー・ミュージズ 総トン数:40,700トン、全長:213m、全幅:27m、船籍:バハマ 乗客定員:596人(ほぼ欧米系外国人の見込み)、乗組員数:411人	中野七頭舞出演 KOBE TO SEWARD (ANCHORAGE, ALASKA) (前港:東京@Sea 次港:函館)
5月 7日(日) 入港 6日19:00 / 出港 18:00	寄港済 初 シルバー・ウイスパ 総トン数:28,258トン、全長:186m、全幅:25m、船籍:バハマ 乗客定員:382人(ほぼ欧米系外国人の見込み)、乗組員数:302人	田野畑甲地鹿踊出演 TOKYO TO SEWARD (ANCHORAGE, ALASKA) (前港:東京@Sea 次港:函館)
6月23日(金) 入港 7:00 / 出港 19:00	寄港済 初 ハンセアティック・ネイチャー 総トン数:15,651トン、全長:139m、全幅:22m、船籍:マルタ 乗客定員:230人(ほぼドイツ人の見込み)、乗組員数:170人	Unknown Worlds Lost islands in the Pacific (前港:東京@Sea 次港:奥尻)
8月 4日(金) 入港 8:00 / 出港 23:00	寄港済 初 MSCベリッシマ 総トン数:171,598トン、全長:316m、全幅:43m、船籍:マルタ 乗客定員:5,655人(ほぼ日本人の見込み)、乗組員数:1,595人	田野畑大宮神楽・菅窪鹿踊出演 ねぶたに沸く 東北夏祭りと よさこい祭り 釜山クルーズ10日間(前港:石巻 次港:青森)
10月17日(火) 入港 8:00 / 出港 17:00	寄港済 初 ウエステルダム 総トン数:82,862トン、全長:285m、全幅:32m、船籍:オランダ 乗客定員:1,964人(ほぼ欧米系外国人の見込み)、乗組員数:812人	27-day Japan, Taiwan & The Philippines Collector (前港:横浜@Sea 次港:函館)
10月26日(木) 入港 8:00 / 出港 17:00	寄港済 初 レガッタ 総トン数:30,277トン、全長:181m、全幅:25m、船籍:マーシャル諸島 乗客定員:684人(ほぼ欧米系外国人の見込み)、乗組員数:400人	LOS ANGELES TO SYDNEY (前港:室蘭 次港:仙台)